

特集**神山天文台学生補助員の紹介****～補助員としての自分～**

小山直輝（京都産業大学）

1. 補助員とは？

補助員とは天文台で活動する学生アルバイトのことで、一般公開の行われる日に専門員の方と協力して一般公開のお手伝いをしています。補助員には男性女性併せて30名が在籍しています。私たち補助員は、神山天文台の一員として自分の業務に責任を持って取り組んでいます。私たちは一般公開の始まる前に集合して、専門員の方と共に開始準備から天文台の運営に協力しています。

補助員には案内・誘導と解説の二つの業務があり、解説の補助員になるには面接を受けて合格しなければなりません。

案内・誘導の補助員は主に受付や、来場されたお客様の誘導をしています。

解説の補助員は専門員の方とともに観望会の際にドームに入り、ドームでのお客様の誘導や、お客様からの質問への対応などのお手伝いをしています。

2. 今まで補助員をしてきて

私は、最初補助員を務めることは将来のためのいい経験になる程度に考えていました。しかし、お客様への対応を通して「また来ます」や「ありがとうございました」と言ってくれたことや、子連れのお客様が観望会で実際に星を見て「もっと見たい」と言って天文に興味をもってくただけることは天文に携わっている者としてとてもうれしかったです。そして、お客様にまた来ていただけるように、自分は天文台の一員として失礼のないように最大限努力しようと考えようになりました。

当初は補助員の業務について安易に考えていましたが、今まで補助員として活動してきた経験から自分の心境が変化し、自分もこの神山天文台をより良くしていきたいと考えようになりました。

3. 補助員としての心構え

私が補助員として心掛けているのは以下の五つの点です。

1. 自分の一言が神山天文台の一言となるので、神山天文台の一員としての自覚をもって発言に気をつけること
2. 様々な年齢層の方に対して適切な説明の仕方を工夫すること
3. 一人のお客様にばかり対応せず、全体を見てお客様をお暇にさせないように心配りをする
4. 自分の意見を持ち、学生として適切に対応すること
5. 自分にできないことは専門員の方と協力して神山天文台の業務に取り組むこと

この五点を気にかけてながらいつも補助員の業務に臨んでいます。そしてこれからも神山天文台の公開活動に貢献できるよう努力していくつもりです。

小山直輝